



思いやりでつくろう 安全・安心の旅

「記憶に残る修学旅行」を

いよいよ高校生活のハイライト、「修学旅行」に行く時がやってきました。コロナ禍、多くの学校が中止や延期をしている中、本校では実施を選びました。このことに関しては生徒の皆さん、そして保護者の皆さまにも様々な思いがあらわれることは承知しております。

私たちの何よりの使命は生徒たちの「**安全・安心**」を守ることです。その点からすると、様々なリスクを回避することを考え延期・中止は確かに「無難」な決断であると思います。しかし、それは同時に生徒たちの一生に一度の思い出を諦めさせることを意味します。旅行に行くのは生徒たち自身であり、その彼らの「**経験**」を守ることまた、我々の大事な使命であると考えます。中止・延期することは簡単ですが、やれる限りのことをやって前に進む創意工夫を行うこともできます。そして我々の選択は後者です。この選択を良いものにするためには、我々が責任を持って生徒の皆さんを守ることはもちろん、**生徒一人一人の協力がなければなりません。**

多くの我慢や不自由がつきまとう旅行になります。それは最初にお詫びをします。でもそれをみんなで乗り越えた先に、きっとこれ以上ない思い出が生徒たちに残ります。どうか「**思いやり**」を持ち、**全員**の力で「**記憶に残る修学旅行**」をつくりましょう。



事前学習を兼ねて学年全員で作りに上げた「いい感じのポスター」。短い期間にも関わらずそれぞれの相違に富んだ作品が出そろいました。

今工版「新しい生活様式」の徹底



マスクは自分のためだけでなく人のためのもの。大原則は「**会話を据えるときは着用**」。食後も就寝前でも。最も目に見える「**思いやり**」です。



食事の前はもちろん、**移動など場面が変わるときにはこまめに実施**。手洗いが基本ですが野外などの場合は消毒を手指ずみずみまで入念に。



マスクをしているからといって**至近距離での会話、特に対面を避け、不用意な接触はしない**。ホテルやバスでは換気もこまめに。



こまめな水分補給や無理をしないように**体調の変化には敏感に**。逆にホテルでは過度な冷房を避けて感想にも注意。**朝晩の健康チェック**を実施。